| | 事業所名 | cocot | | | 支 | を援プログラム | 、(参考様式) | 作成日 | 2024 年 | 12 月 | |
|-----------|-------------|---|----------|-------------------------------------|----------|---------|---------|--|------------|-----------|--------|
| 法人(事業所)理念 | | 法人理念:誰もがひとりひとり笑顔を大切にし、かけがえのない人生を歩んでいけるような社会をはぐくみ、「地域になくてはならない存在」となる企業を目指す。 事業所理念:①個々を大事に②チャレンジ③ココに集まる。を理念とし、こども達、保護者、支援者の笑顔を大切にし、ともに成長していく事業所をめざす。 | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 個別活動、小集団活動、集団活動などたくさんの経験を積み、その中でこども達の「できた」を尊重します。 こども達が居心地よく「また来たい」「気軽によれる」と思える居場所づくりを行います。 こども達にとって必要な支援など、スタッフ間で共有しチームでアプローチを行います。 | | | | | | | | | |
| | 営業時間 | | 10 時 | 0 分から | 18 時 | 0 分まで | 送迎実施の有無 | あり | | | |
| | | 支援内容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 食事・排泄・衣類の着脱など、日常生活動作(スキル)について、スモールステップ、繰り返しの支援で身辺自立を促します。 | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 遊びや、運動など各種活動の中でしっかりと体を動かし、身体(運動)の発達を促します。 感覚の特性に応じた対応(特性に応じた感覚の入力、触覚、固有覚、前庭覚を意識した運動や制作)を行います。 姿勢や運動、基本的動作、応用的動作能力の向上を促します。 | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 具体物や絵カードを使った課題、プリントの学習の中で、数、形、長さ、大きさ、時間などの概念を学びます。 空間、時間、など認知発達を促す環境設定(パーテーション、スケジュールや時間の視覚化)を行います。 | | | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 要求、報告、聴く、模倣、観察など自分も周りも人も大切にするコミュニケーションを学びます。 言葉の発達支援や文字の習得、絵カードの使用などコミュニケーション(意思伝達)における代替手段を模索し、発達を促します。 | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | グループ活動や集団遊びの時間を通して、順番、ルール、友達との協力するなど、他者と一緒に生活していく為に必要なスキルを身につける機会を作ります。 友達との関わり方に関して、支援者が見本を見せたり助言、必要時には仲介に入り肯定的な関わり方が増えるよう支援します。 | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 反映。相談事は | 連絡帳でやり取り | 、本人の家庭、学校 を行いながら、必要 ついても同様に実施 | 時には個別に時 | | 移行支援 | 就学前、進級時など定す。 | 期的に保護者や関係 | 系機関と話す機会を | E設けていま |
| 地域支援・地域連携 | | 連携を深めてし | | をい交流や、定期 ないます。 | 目的にこども食堂 | 堂に行き、地域 | 職員の質の向上 | 日々のミーティングに のミーティングでの利 修等による研修を実施 | l用者別の関り方やす | | |
| 主な行事等 | | 防災訓練(地震・火災を想定した訓練。非常食体験など。 季節に応じたイベントを実施。(クッキング、クリスマス会、ハロウィン、豆まきなど) | | | | | | | | | |